

学校建設の方針が固まりました



人口増加に伴う過大規模校の課題解消のため、かねてよりたびたび議会で取り上げてきた新設校。地域住民の皆さん、特に子どもを学校に通わせている保護者の皆さんは気になっていたと思いますが、12月15日の2021（令和3）年度第1回総合教育会議において、

小学校1校、中学校1校 2027（令和9）年開校をめざす

という対応方針が、市長と教育委員会とで合意・決定しました。

正式な建設箇所や学校の規模、校区、その他の諸問題については、今後、協議調整を進めていくこととなります。また、開校までには時間を要することから、それまでの間の対応についても並行して進めていくこととなります。

今後は候補地の選定や開校までの対策として通学区域の変更の検討などの事業が組まれる予定です。そのため、新設校基本計画策定業務の委託料や学校通学区域審議会開催に関する補正予算が計上されて、1月20日の臨時議会で議案としてあがりました。

学校建設関係の補正予算

*通学区域審議会の報酬と費用弁償 261,000円

新設校の通学区域をどうするかをきめるために、「学校通学区域審議会」に諮問。答申は今年度末まで。2021年10月までに諮問していた審議会は「通学区域の運用を整理することによる過大規模緩和の方法を検討」を目的としていたため、継続という形での審議会ではなく、新たに委員を集める。（最大7回開催予定）

*新設校基本計画策定業務委託料 2,970,000円

用地の選定や施設規模の算定、用地取得に必要な業務量を事業費を算出するための計画策定業務委託をし、2022年5月31日を目標に候補地選定や学校の規模などの確定を進める。

議員側からは

「過大規模校から過大規模校ではない学校への校区外通学はどうなるのか？」

「過去に3,170万円(うち1,750万は次年度繰越となった)と2年の期間をかけた

『福津市学校施設等整備計画策定業務委託』についてはどう考えるのか？」

といった質疑がでました。

校区外通学については、上の「通学区域審議会」「新設校基本計画策定業務」と並行して話を進めていくという答弁があり、また過去の計画に、今回の新しい基本計画を加えてまとめていくという答弁がありました。

通学区域審議会への諮問から答申までの期間や、新設校基本計画策定の確定までの期間は短いですが、子どもたちの学校生活を守るためにも、丁寧かつ確実に進めてほしいものです。

2021年12月議会での一般質問

1 行政の市民サービスについて

昨年から総務省では自治体DX（トランスフォーメーション）を進めています。2021年9月1日には「デジタル庁」も設置されました。マイナンバーや行政手続きのオンライン化、AIや自治体のホームページなどで自動で質問を受けてコンピューターが回答する「チャットボット」等のRPAなど聞きなれない言葉が飛び交っています。確かにデジタル化は限られた人員の中で作業の効率化をはかるうえでは有効ではありますが、機械ではなく対面だからこそ生きる行政サービスもあります。そのことをふまえて一般質問しました。

質問

- ・行政に対して地域住民からの相談があった場合、どのように対応しているか。
- ・複数の課に関わるというような、多岐にわたる相談の場への対応は。
- ・窓口対応が多い担当課だけでも、経験が長い職員を専門におくことはできないか？人事異動が行政サービスの低下を招いていないか。

市の答弁

- ・地域住民から各課に直接相談がある場合と、自治会長を経由して地域からの要望として挙がる場合がある。各課が個別に対応したり、地域からの要望の場合はまちづくり推進室が担当課に割り振って対応している。
- ・複数の課に関わる相談内容については、関係課で連携して対応している。また国県等の行政機関に関わる場合は、担当課から当該機関に連絡を取るなど対応している。
- ・異動しないでその担当課の専門職として配置することは、安定的な窓口サービスの提供の上では効果があるかもしれないが、一方で専門職自身や専門職に頼ってしまう他の職員の仕事に対するモチベーションの低下につながりかねないので、今のところは考えていない。



「生活の悩み、どこに相談したらいい？」

新潟県長岡市、静岡県静岡市、愛知県豊川市では、地域住民の「どこに行けばいい？」という「わからない」の解決をお手伝いするために『市役所コンシェルジュ』を配置しています。これは、行政職員が担当業務だけでなく、他課を含めた市役所全体の業務を把握し、地域住民を適切に案内できるようにとのことで導入されています。

神奈川県横須賀市では、「横須賀市コールセンター」を2005年から開設。年中無休の午前8時～午後6時まで市役所の手続きからイベント情報など気軽に電話で問い合わせができるようになっています。



行政職員の業務の軽減をはかるという目的で、行政での業務をデジタル化を進める政府ですが、業務の軽減の先に考えられるのが人員削減です。しかしながら事務作業などが減るのであれば、地域住民のための「相談体制」や対面でしかできない業務を充実させるべきではないでしょうか。

私たちの生活の中の困った事や悩み、「これどこにいったらいい？」が気軽に聞ける場所は、私たちが生活している以上必要ですし、簡単になくしてはなりません。経費削減するのであれば、もっと違うところから考えるべきです。



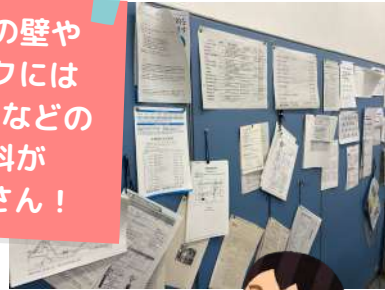
おとなりの
宗像市では

宗像市にはその名の通り「なんでも相談室」があります。どんなに小さなことでも話を聞いてくれる窓口です。実はこの事業は総務省が管轄している「行政相談」です。「なんでも相談室」の担当は再任用職員、市職員OBで、2人交代で平日5日受け付けています。「〇〇というお菓子はどこで買えるの?」といったタウン情報的なものから、自宅のポストに入っている郵便物を相談窓口へ持参して、担当と一緒に必要なもの不要なものの仕分けをしたりすることもあり、訪れたみなさんの「よかった」につながるお手伝いをされています。

宗像市役所「なんでも相談室」



部屋の壁や
ラックには
連絡先などの
資料が
たくさん!



総務省HPより

北館1階にあります



こういった他の自治体の事例もあげて、さらに一般質問を続けました

質 問

・各市町村において、総務省から委嘱された行政相談委員による相談窓口が開設されている。福津市での活用状況と実績は。

市の答弁

・行政相談員2名体制のほか、社会福祉協議会が行っている「心配ごと相談」の相談員2名の合計4名で、毎月1回第2水曜日にふくとぴあで対応している。
行政経験が豊富な市役所職員や相談員などを含む相談体制で、幅広い内容の相談対応をしている。

福津市の行政相談の相談件数

* 2021年度は9月末時点での数

年度	年間件数
2019 (平成31) 年度	計 24 件
2020 (令和2) 年度	計 45 件
2021 (令和3) 年度	計 9 件



生活をしていると様々な「悩みごと」が出てきます。専門職に相談する悩みもあれば、「こんなこと聞いてもいいのかな。」というような悩みもあります。まずは「ちょっと聞いてほしい。」と訊ねやすい体制、気軽に頼れる窓口が必要だと思います。

悩みはいつもあるとは限らなくても、何かあれば「あそこに聞けばなんとかなるかもしれない」と頼っていける場所が市役所や公共施設であってほしいものです。

「話せてよかった」「聞いてもらえて助かった」と住民が思えるようなあたたかい気持ちがあふれる福津市にしていきたいです。



パブコメの
ちからは
すごい!!



パブリックコメントがきっかけで
「福津市中央公民館」の「廃止」が

2025（令和7）年までの

廃止は行わない

方針に変わった!!

市民の皆さんの意見によって、行政の方針が変わりました。

2021（令和3）年8月1日から9月30日まで第3次福津市行財政改革大綱の素案について市民意見公募があり、市民から寄せられた意見は73名の方から92件、その中でも中央公民館に関する意見が67件もあったそうです。

この意見が10月29日に開催された行財政改革審議会にかけられて、その後、行政運営の効率化と市民サービスの向上をはかる『福津市行財政改革大綱』が策定されています。

市民一人ひとりの思いや考えを市政に届ける方法の1つである市民意見公募（パブリックコメント）は、今後も公募されます。募集する際は市のホームページや広報ふくつにお知らせが掲載されますので、ぜひたくさんのご意見を寄せてください。

パブコメ（パブリックコメント）とは？

市民意見公募手続きのこと。市などの行政機関が政策の立案などを行おうとする際にその案を公表し、この案に対して広く皆さんから意見を提出していただく機会を設け、行政機関は、提出された意見などを考慮して最終的な意思決定を行うというものです。

市民などの皆さんの多様な意見・情報・専門知識を行政機関が把握するとともに、行政の意思決定過程における公正の確保と透明性の向上を図ることを目的としています。

この春から福間中学校に新しい制服が導入されます

2022年の4月から、福間中学校でも新しい制服の導入が始まります。

2020年12月議会での一般質問で、石田は「市内の中学校での共通の制服の導入を」を提案しました。中学校が違っていてもおさがりできたり、リユースすることによって保護者の経済負担の軽減、また新設校ができた場合や通学区域が変わっても困ることがないようにというのを理由にあげてきました。この点を学校側も考慮して今回の福間中学校での新制服導入となりました。

そのため、福間中学校の新しい制服の**ブレザー・スラックス・スカート**は福間東中学校と同じデザインになります。ボタンが福間中学校独自のデザイン、中に着用するシャツの色はブルーになりました。（福間東中学校のシャツの色は白です）

また、福間中学校での現在の制服から新しい制服への移行期間は「当面の間」ということになりました。この期間中は現在の制服との組み合わせで着用することも自由にできます。

